

2023-02-17 10:32

来源：危险化学品安全监督管理一司

https://www.mem.gov.cn/xw/yjglbgzdt/202302/t20230217_442795.shtml

<以下、仮訳ですので、ご使用に当たっては原文をご確認ください。>

应急管理部は、化学反応の安全リスクの管理を強化する

推奨国家標準 GB/T42300-2-22<<精密化学産業に於ける化学 反応の安全リスク評価基準>>を実行する

共産党中央委員会と中国国務院が公布した<<危険化学品の安全生産を全面的に強化することに関する意見>>を実行し、精密化学企業の安全生産リスクの管理・制御を強化し、重大事故を効果的に防止する為に、应急管理部が最近策定した国家標準<<精密化学産業に於ける化学反応の安全性リスク評価基準>> (GB/T 42300-2022) を実行する。(注:既に 2022.12.30 に公布済)

現在、精密化学品の生産は多くの場合、バッチ又はセミバッチ反応であり、原材料、中間製品及び製品の種類、プロセスが複雑・多様であり、反応工程に於いて大量の熱放出を伴い、これらによって、反応が制御不能になり易いリスク特性を有し、火災、爆発、中毒事故発生の主な原因となる。化学反応の安全リスク評価の実施を通じて、反応プロセスのリスクレベルを決定し、効果的なリスク制御措置を講じ、また反応の安全リスク評価の推奨事項に従った安全設計を実施し、自動化制御レベルを改善し、本質的な安全水準を向上し、安全操業条件を明確にすることは、精密化学品の安全生産を確保する上で非常に重要な意義がある。

<<精密化学産業に於ける化学反応の安全リスク評価規準>>は、国内外の精密化学産業の発展に伴う先進的実施経験を更に吸収したものに基づき、<<精密化学産業に於ける化学反応の安全リスク評価の強化に関する指導的意見>>を国家標準に格上げするものである。この標準では、適用範囲、主要評価対象を明確にし、精密化学産業に於ける化学反応の安全リスク評価の要件、評価の基本条件、データ測定及び取得方法、評価レポート要件等を主な内容として規定している。この標準はリスクの認識、評価、及び防止制御を目的とし、反応プロセスのリスクレベルを定量的に評価する標準体系を確立し、併せて各種反応プロセスのリスクに基づいて、プロセスの最適化設計、隔離区域、人員による安全操作等の観点から、安全リスクの防止・制御対策に関する提案が提示される。この標準の実施は、精密化学企業が反応の安全リスク評価を強化することを強力に促進し、精密化学産業の重大安全リスクの防止・制御を支援し、保証する。

(中华人民共和国应急管理部；既に 2022.12.30 に公布済)